

令和4年度 金融経済教育研究授業 指導計画

栃木県立栃木翔南高等学校

【対象】 高校1年（普通科1～4組）

【教科・単元名】 家庭基礎（経済生活のマネジメント）

【教科書】 Creative Living「家庭基礎」で生活をつくろう（大修館）

【資料集】 LIFE おとなガイド、おかねドリル（教育図書）

【単元の指導計画】全8時間

時間	授業日時	学習活動	使用教材など
1	10月26日 (水) 10:40～ 11:25	【経済的な自立】 ・経済的な自立について理解する。	・教科書 ・はじめてのサステナブルファイナンス ・シリーズ教材お金のキホン AL型授業プログラム家計管理編
2	10月26日 (水) 11:35～ 12:20	【家計の構造と社会】 ・毎日の生活を営むために必要な費用を知る。	・教科書 ・資料集 ・シリーズ教材お金のキホン AL型授業プログラム家計管理編
3	11月2日 (水) 10:40～ 11:25	【経済計画とリスクの管理】 ・人生を見通した経済計画を立てるの必要性和方法を学ぶ。	・教科書 ・シリーズ教材お金のキホン AL型授業プログラム資産形成編
4	11月9日 (水) 10:40～ 11:25	【消費と契約】 ・消費にかかわる契約について理解する。	・教科書
5	11月9日 (水) 11:35～ 12:20	【購入方法・支払い方法の多様化】 ・経済発展や技術の進歩により、消費生活は多様化・複雑化していることを理解する。	・教科書 ・マナブとメグミのお金のキホン BOOK
6	11月16日 (水) 10:40～ 11:25	【消費者信用の利用と管理】 ・消費者信用について理解する。	・教科書 ・マナブとメグミのお金のキホン BOOK ・お金のキホン動画
7	11月16日 (水) 11:35～ 12:20	【多様化する消費者問題】 ・消費者問題が発生する原因を知る。	・教科書 ・マナブとメグミのお金のキホン BOOK ・お金のキホン動画
8	12月7日 (水) 11:35～ 12:20	【消費者保護の法律としくみ】 ・売買契約のトラブルや消費者問題から消費者を救済する法律や制度について理解する。 【情報の収集と整理】 ・消費に関するさまざまな生活情報の活用方法と情報社会における消費者の対応について考える。 【消費者の権利と責任】 ・消費者の権利が確立された歴史的動向を知り、消費者の権利と責任のありかたについて考える。	・教科書

1. 単元名（題材名）

経済生活のマネジメント

2. 単元の目標

消費生活の現状と課題や、消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定にもとづいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようにする。

3. 単元設定の理由

消費は生活に密着した経済であり、誰もが消費者である。ここでは自分の消費を振り返り消費行動の社会への影響を認識し、自ら考え日常において適切な意思決定が行えるよう設定した。

4. 生徒の実態

本校は4年生大学に進学することを目標としている生徒が多く在籍しており、何事も意欲的に考え、前向きに取り組む。グループワークなどを行うと活発に発言している様子がうかがえるが、発表となると消極的である。自分の意見をまとめられ、発表するという点については経験も少なく、自信がない様子の生徒も多く見られる。

5. 指導方針

タブレット等を活用し理解しやすく、他者と意見交換しやすい授業を展開する。自分で考えたうえで他者の考えを聞き、協議することで生活についての知見を広げることを目標とする。また、スライドなどにより視覚的にも理解を促す。評価はプリントや各班、個人でまとめた意見、定期試験等により総合的に行う。

6. 使用教材

シリーズ教材 お金のキホン

マナブとメグミのお金のキホン BOOK ・ お金のキホン 動画

アクティブラーニング型授業プログラム 家計管理編・資産形成編

7. 単元（題材）の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
消費行動における意思決定について理解している。 お金・契約の重要性について理解し、消費者の権利と責任を自覚して行動することができている。	自立した消費者として情報を活用し、適切な意思決定にもとづいて行動し、課題を解決する力を身につけている。	様々な考えを持った人々と協議し、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、生活を工夫・創造・実践しようとしている。

8. 指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点			評価方法
		知	思	態	
1	【本時のねらい】 経済的な自立を目指して、生活を営むためのお金と仕事について考える <input type="checkbox"/> 経済的な自立について理解する。 ・労働の基本は時間の対価として報酬を得ることであるが、労働に期待することは人それぞれであり、将来就きたい仕事と結びつけながら、自分なりの労働観をまとめていく。 ・毎日の生活を営むために必要な費用を知る。	●	●	●	<input type="checkbox"/> 経済的自立について理解している。 <input type="checkbox"/> 職業観について自分自身どうするか考え、まとめたり発表している。 <input type="checkbox"/> 自分の将来を見据えて、職業や労働について考えている。
	【本時のねらい】 家計の構造、家計管理について理解し、ライフステージと関連づけた経済計画を考える <input type="checkbox"/> 毎日の生活を営むために必要な費用を知る。 ・家計を中心とした経済の循環を知る。 ・家計と社会の経済情勢は密接に関係していることを知る。	●	●		<input type="checkbox"/> 物価、税金物価、税金や社会保険料、公共料金が家計に及ぼす影響について、他教科との関連や新聞記事等から確認することができる。 <input type="checkbox"/> 自身の経済活動が企業や政府などの経済活動とつながっていることについて考えを深め、まとめたり発表したりしている。
3	【本時のねらい】 お金の機能や資産形成について理解する <input type="checkbox"/> 人生を見通した経済計画を立てる必要性と方法を知る。 ・リスク管理について知る。 ・家計管理と資金管理について知る。	●	●	●	<input type="checkbox"/> 経済計画で考慮しなければならない事項を理解している。 <input type="checkbox"/> 生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画を立て、経済計画の重要性について考えを深め、まとめたり発表したりしている。 <input type="checkbox"/> 生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画について具体的に考えようとしている。

【本時のねらい】消費にかかわる契約について理解する					
4	<input type="checkbox"/> 消費にかかわる契約について理解する。 ・契約を交わす際の注意点、契約を交わしたときに発生する法的責任、契約に関するトラブルについて知る。	●	●	●	<input type="checkbox"/> 契約について理解している。 <input type="checkbox"/> 多様化する消費問題にどのように対処すべきか考えを深め、まとめたり発表したりしている。 <input type="checkbox"/> 消費者問題の課題に関心をもとうとしている。
【本時のねらい】購入方法・支払い方法の多様化について理解する					
5	<input type="checkbox"/> 経済発展や技術の進歩により、消費生活は多様化・複雑化していることを理解する。 ・キャッシュレス化にともない、見えにくいお金の動きを的確に捉えられるような意識的な家計管理が必要であることを理解する。 ・商品の購入方法、支払い方法の種類と特徴を知る。	●	●		<input type="checkbox"/> 近年の消費生活の特徴を理解している。 <input type="checkbox"/> 多様化・複雑化する消費生活の課題について考えを深め、まとめたり発表したりしている。
【本時のねらい】消費者信用について理解する					
6	<input type="checkbox"/> 消費者信用について理解する。 ・多重債務について知るとともに、「お金を借りる」機会を有意義に活用できるようにする方法を考える。	●			<input type="checkbox"/> 契約、クレジット、ローンについて理解し、適切に自己管理することができる。
【本時のねらい】多様化する消費者問題について理解する					
7	<input type="checkbox"/> 消費者問題が発生する原因を知る。 ・情報化を背景とした消費者問題に注目し、問題商法の被害者あるいは加害者にならないようにする方法を考える。 ・売買契約のトラブルや消費者問題から、消費者を救済する法律や制度について理解する。 ・クーリング・オフ制度について理解する。	●	●	●	<input type="checkbox"/> 問題商法の種類と被害の内容、回避する方法について理解している。 <input type="checkbox"/> 特徴的な消費者トラブルの事例検討を通して、消費者心理について推察し、リスクを回避する能力を身につけている。 <input type="checkbox"/> 契約上の問題から消費者を救済する制度や法律について理解している。 <input type="checkbox"/> クーリング・オフの条件を理解し、必要な場合には通知できる。 <input type="checkbox"/> 問題商法にどのように対処すべきか考えを深め、まとめたり発表したりしている。 <input type="checkbox"/> 消費者を救済する法律や制度に関心をもとうとしている。
【本時のねらい】					
・消費者保護の法律としくみについて理解する ・情報の活用方法と消費者の対応について考える ・消費者の権利と責任のありかたについて考える					
8	<input type="checkbox"/> 消費に関するさまざまな生活情報の活用方法と情報社会における消費者の対応について考える。 ・消費行動が電子記録化される時代になり、消費意欲をあおられやすい環境にあることを知り、自分の行動をコントロールする力を身につける大切さを理解する。 <input type="checkbox"/> 消費者の権利が確立された歴史的動向を知り、消費者の権利と責任のありかたについて考える。 ・意思決定の重要性と消費行動における意思決定のプロセスを理解する。 ・消費には企業や社会を動かす力があることを理解し、その力を有意義に使う思考と行動力を身につける。	●	●	●	<input type="checkbox"/> メディアリテラシーを働かせ、クリティカル・シンキングでものごとを評価することを日ごろから実践できるようにする。 <input type="checkbox"/> 消費者として主体的に判断し行動するために必要な生活情報を、適切に活用することができる。 <input type="checkbox"/> 自分の生活に起こったことと関連づけながら、生活情報を活用することについて、考えを深めたり、まとめたり、発表したりしている。 <input type="checkbox"/> 消費者の保護、消費者の権利と責任について具体的な事例を通して理解している。 <input type="checkbox"/> 消費者としての責任ある行動とはどのような行動か、考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 <input type="checkbox"/> 消費行動における意思決定の過程について関心を持ち、資源の適切な活用と関連させて考えようとしている。